

用語の解説

■ リスクアセット …… 本編P7・資料編P14他

金融機関が保有する貸出金や有価証券といった運用資産について、資産の種類ごとに定めたリスクの度合い(リスクウェイト)を乗じて信用リスクに見合った金額として評価したもので、自己資本比率を算出する際の分母の値として用いられます。

■ コア資本に係る基礎項目 …… 本編P7・資料編P13他

自己資本比率を算定する際に自己資本となる項目で、出資金、利益剰余金、一般貸倒引当金などから構成されています。

■ コア資本に係る調整項目 …… 本編P7・資料編P13他

自己資本比率を算定する際に自己資本から控除される項目で、無形固定資産などが該当します。

■ ALM …… 本編P10

Asset Liability Management (資産負債総合管理)の略で、金融機関が業務を行うにあたって発生する各種のリスクをコントロールし、資産と負債のバランスを総合的に管理する手法のことです。

■ 市場リスク …… 本編P10

債券や株式といった市場性のある運用資産を保有することで、金利や為替、株式などの相場変動を受けて、保有資産の時価が値下がりして損失を被るリスクのことです。

■ エクスポージャー …… 本編P10・資料編P15他

金融資産のうち市場の価格変動リスクにさらされている(リスクヘッジがされていない)資産の度合いのことで、金融機関の場合には、信用リスクにさらされている融資や保証などの総額を表す意味としても用いられます。

■ 金利ショック …… 本編P10

市場金利の変動により、保有している運用・調達勘定の経済価値が低下することの呼び名です。

■ 信用リスク …… 本編P11・資料編P15他

融資した貸出金や購入した有価証券について、与信先や発行体の財政状態の悪化や経営破綻などによって、その資産価値が減少したり回収が難しくなったりして損失を被るリスクのことです。

■ クレジットポリシー …… 本編P11

融資の基本方針のことです。「信用リスク管理要領」の中に、与信判断の指針としてクレジットポリシーを掲げています。

■ ポートフォリオ …… 本編P11・資料編P14他

本来の意味は「紙積み」で、有価証券の保管に利用されていた書類入れの呼び名の名残から、「有価証券一覧表」や「資産構成」がポートフォリオと呼ばれるようになり、資産を複数の金融商品に分散投資することや、その投資した金融商品の組み合わせを意味するようになりました。

■ 流動性リスク …… 本編P11

調達期間と運用期間の不一致や予期せぬ資金の流出、市場の混乱などで、資金繰りに支障をきたしたときに、通常よりも著しく高い金利での資金調達を余儀なくされるリスクのことです。

■ オペレーショナル・リスク …… 本編P11・資料編P14他

通常の業務遂行により発生するリスクの総称で、事務ミスやシステム障害等にかかるリスクに限定して用いる場合もありますが、人材の流出、不正、事故などの人的リスク、コンプライアンス態勢の不備などによる法務リスク、災害などによる業務中断リスク、それらに伴う風評リスクや訴訟等のリスクなど、調達や運用に直接関係するものを除いた幅広いリスクが含まれます。

■ デリバティブ …… 資料編P12・P15

株式、債券、為替といった既存の金融商品(原資産)からデリバティブ(派生)してできた金融派生商品の総称で、先渡取引、先物取引、スワップなど将来一定価格で原資産を受け渡すことや一定期間のキャッシュフローを交換することを約束する取引、将来一定価格で原資産を買う権利または売る権利を売買するオプション取引などがあります。

■ ソブリン …… 資料編P14・P26

中央政府、中央銀行、地方公共団体、我が国の政府関係機関、土地開発公社、地方道路公社、信用保証協会、外国の中央政府以外の公共部門、国際開発銀行、国際決済銀行、国際通貨基金等のことです。

■ オフバランス …… 資料編P15・P27他

貸借対照表上に記載されない項目あるいはその額のこと、資産の売却・証券化・流動化などによる資産規模の圧縮や、資産価格の変動リスクを回避し、資産効率の改善を図ることを指しますが、スワップやオプション取引などのデリバティブ取引もオフバランス項目となるため、これらについては厳格な管理と貸借対照表上への開示が求められています。

■ オリジネーター …… 資料編P17・P29

資産流動化の仕組みにおいて流動化の対象となる資産を保有している企業などのことで、債券や不動産などの資産を特定目的会社に譲渡するなどして資産を証券化することで資金を調達します。

■ IRRBB (Interest Rate Risk in the Banking Book) …… 資料編P18・P29

一定の金利水準変動により、金融機関の資産・負債・損益に対して生じるリスクのことです。

■ ΔEVE (Economic Value of Equity) …… 資料編P18・P29

金融機関が保有する運用・調達勘定の経済的価値について、金利ショックを与えることによる変動量(金利リスク量)のことをいいます。

■ ΔNII (Net Interest Income) …… 資料編P18・P29

金融機関が保有する運用・調達勘定において、算出基準日から12ヶ月間で償還または満期を迎えた後に、1年後を満期とする再投資を行う場合に、2種類の金利ショックを与えることで得られる金利収益の変動量(金利リスク量)のことをいいます。